

2008年6月3日

報道資料

## アックスは、POSIX 準拠 RTOS for RVDS の ST マイクロエレクトロニクス社製 STM32 シリーズ対応版を 販売開始いたします。

株式会社アックス

この度、株式会社アックス（本社：京都市中京区、代表取締役社長：川崎 淳、以下アックス）は、ST マイクロエレクトロニクス社製 STM32 シリーズ（CPU：ARM 社 Cortex-M3 コア採用）に、POSIX 準拠 RTOS の英 ARM 社純正ツール RVDS (RealView Development Suite) バンドル製品版を 7 月上旬より販売開始いたします。

### ■ POSIX 準拠 RTOS の特徴

アックスの POSIX 準拠 (IEEE1003.13 規格) RTOS は、小さい CPU パワーと少ないメモリ容量で高い実時間性能を実現できます。海外製ミドルウェアの使用や、小さい CPU パワー上での実時間性能を持った Linux/UNIX API (pthread IEEE1003.13) の使用、TCP/IP ネットワークの使用も可能で、さらにメモリ保護の必要も無く、省電力にも優れています。

さらに  $\mu$ ITRON や XTAL インターフェースを実装し、複数の組込み OS の API 同時使用も可能になる予定です。

オプション・ソフトウェアとして、AXE-TCP インターネット・プロトコル、DOSFS、UNIX 互換ライブラリ、X Window for RTOS の提供も順次リリースを予定しております。

今後は、セイコーエプソン社 C17、ルネサステクノロジー社 SH-2,3,4、M32C,R 富士通社 FR シリーズ、などへの対応を順次予定しております。

### ■ POSIX 準拠 RTOS のオプション・ソフトウェア

AXE-TCP インターネット・プロトコル

・独自の TCP/IP プロトコルスタック

Java 版をオムロンに供給

・衛星通信による高速通信に対応

連続 5Mbps の送受信が可能 (Windows2000 などでは、ピーク 2Mbps、連続は 1.2Mbps が限界と言われている)

デジタル放送衛星のデータ送信設備にも採用

DOSFS

・FAT ファイル・システム

- ・マルチタスク対応
- ・リエントラント(再入可能)、スレッドセーフ

#### UNIX 互換ライブラリ

- ・UNIX C 準拠の関数群で、UNIX 準拠の API を実現
- ・DOSFS ファイル・システム、AXE-TCP などのオプションに対応
- ・リエントラント(再入可能)、スレッドセーフ

#### X Window for RTOS

- ・X Window Ver.11 サーバを始めとするソフトウェアが動作
- ・AXE 製 RTOS で動作する
- ・AXE 伝統の UNIX のノウハウによる
- ・UNIX 互換ライブラリが必要

### ■ RVDS の特徴

アクスが独自に開発した高性能 OS 群を RVDS に対応させる事によって、よりスムーズな開発環境を実現します。オーディオ機器や車載・マイコン制御に最適な「POSIX 準拠 RTOS」、デジタル家電やネットワーク機器に最適な「axLinux for RVDS」、この 2 つのバンドル製品を現在ご用意しています。

※アクスは、英 ARM 社純正開発ツール「RVDS(RealView Development Suite)」の VAR (Value Added Reseller) です。

### ■ STM32 シリーズの特徴

CPU に ARM 社 Cortex-M3 コアを採用し、1.25DMIPS/MHz のハイパフォーマンス、リアルタイム動作では割り込み遅延を 6CPU サイクルまで低減、卓越した電力効率で 27mA@72MHz (Standby モード時は 2 $\mu$ A) と低消費電力、12-bit ADC (1 $\mu$ 秒、デュアル/トリプル変換) や 4Mbps の UART と最高級のペリフェラルを用意、内蔵 8MHzRC オシレータの使用により外部にクロック源を必要としない高集積度、Thumb-2 命令セットにより 16 ビットのコード密度で 32 ビット命令セットのパフォーマンスを実現します。さらに低価格に設定されており、コストパフォーマンスにも優れています。

### ■ STM32 シリーズ用 POSIX 準拠 RTOS リファレンスボード

- ・ST マイクロエレクトロニクス社製 STM32F10x
- ・KEIL 社製 MCBSTM32 (STM32F103RB 実装)

## □ST マイクロエレクトロニクスについて

ST マイクロエレクトロニクスは、多種多様な電子機器向けに半導体製品やソリューションを開発・提供する世界的な総合半導体メーカーです。ST は、他社の追従を許さない高度なシリコン技術とシステムノウハウを擁しており、幅広い IP (Intellectual Property) ポートフォリオ、戦略的パートナーシップ、大規模な製造力との組み合わせにより、SoC (システム-オン-チップ) 技術に関し世界的リーダーとしての地位を確立しています。また ST の半導体製品は、市場における技術やシステムのコンバージェンス化を促進するために重要な役目を果たしています。ST は、ニューヨーク証券取引所 (NYSE:STM)、パリ証券取引所 (Euronext Paris) とミラノ証券取引所に上場されています。2007 年の売上は 100 億ドルでした。さらに詳しい情報は、<http://www.st-japan.co.jp/> (日本語) <http://www.st.com/> (英語) をご覧ください。

## □アックスについて

アックスは、常にハイエンドな要求に応える技術を提供しています。1990 年代より電子手帳ザウルス、オリンパス社のデジカメに採用され、実績十分な組込み技術と、1980 年代より UNIX サーバで培った IT 技術を、組込み用 Linux「axLinux」として提供しています。またライセンス条件の緩い高性能 UNIX 系 OS として「組込み BSD」、実時間指向の小規模組込み OS「XTAL」、携帯 Linux マシン向けの組込み GUI 環境「式神」、オーディオ機器や車載・マイコン制御に最適な「POSIX 準拠 RTOS」、英 ARM 社純正開発ツール「RVDS」とアックス製 OS 群とのバンドル製品、小さなシステム開発で定評ある独 KEIL 社の ARM 社純正開発ツール「RealView MDK-ARM」や独 Hitex 社の開発ツール「Tantino/Tanto for ARM」を提供しています。

## ○STM32 シリーズに関するお問合せ先

ST マイクロエレクトロニクス株式会社  
〒108-6018 東京都港区港南 2-15-1 品川インターシティ A 棟 16 階  
MMS グループ  
TEL: 03-5783-8240 FAX: 03-5783-8216  
ホームページ URL: <http://www.st-japan.co.jp/> (日本語)  
<http://www.st.com/> (英語)

## ○本件に関するお問合せ先

株式会社アックス  
(製品に関するお問合せ) 営業部 KEIL 担当 E-mail: [kynux@axe-inc.co.jp](mailto:kynux@axe-inc.co.jp)  
(プレスに関するお問合せ) マーケティング部 E-mail: [marcom@axe-inc.co.jp](mailto:marcom@axe-inc.co.jp)

東京支店：〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-14-3 福栄秋葉原ビル 7F  
TEL:03-5298-6991 FAX:03-5298-6992

※東京支店 は 2008 年 6 月 9 日に下記住所へ移転します。

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-34-1 新宿御苑前アネックスビル 3F  
TEL:03-5369-7858 FAX:03-5369-7857

京都本社：〒604-0857 京都府京都市中京区烏丸通二条上ル蒔絵屋町 280  
マニユライフプレイス京都 8F  
TEL:075-213-7075 FAX:075-213-7076

<ホームページ URL>

株式会社アックス <http://www.axe-inc.co.jp/>

<株式会社アックス(AXE, Inc.)概要>

創 立：1992 年 4 月 15 日

本 社：京都府京都市中京区烏丸通二条上ル蒔絵屋町 280

資 本 金：2 億 6540 万円

従業員数：67 名(2008 年 6 月 3 日現在)

主要事業：組込み向けソフトウェアの開発と販売

※ プレスリリースに記載された情報は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

※ axLinux、式神、XTAL は、株式会社アックスの登録商標です。ARM、RealView、μVision は、ARM Limited の登録商標です。KEIL、Cortex は ARM Limited の商標です。その他の社名、ブランド名または商品名はすべて、各所有者に帰属します。「ARM」は ARM Holdings plc、同社の事業会社 ARM Limited、および各地域の子会社 ARM INC.、ARM KK、ARM Korea Ltd.、ARM Taiwan、ARM France SAS、ARM Consulting (Shanghai) Co. Ltd.、ARM Belgium N.V.、AXYS Design Automation Inc.、AXYS GmbH、ARM Embedded Solution Pvt. Ltd.、ARM Physical IP, Inc.、および ARM Norway AS を言及する場合に使用されます。